

地区別意見交換会（恵庭地区）

第5期恵庭市総合計画について

日時 令和2年11月4日（水） 19:00～20:00
会場 えにあす2階 会議室8
参加人数 4名

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

（市民意見）

- ・障がいの方が持っている能力を活かし、福祉を受けるだけでなく、住民税を払ってもらうことも必要。障がい者自身も生きがいにつながっていければいいと思う。
- ・上位の計画として、人口動態がそれぞれの個別計画にも反映させ、目で見えて分かるかたちで落とし込んで欲しい。（障がい福祉計画なら年齢構成のうち、どういいう障がい者がどのくらいいるかなど。高齢者保健福祉計画では分かりやすくなっている）。
- ・上位計画で使っている人口動態を個別計画にも活かせるなら、一体的で分かりやすいと感じた。

（事務局）

- ・人口動態の件については担当所管と検討させていただく。
- ・第5期総合計画の施策体系のうち、個別目標10「いきいきと働きやすいまち」の中で、色々な方にとって働きやすいまちということで盛り込んでいる。個別事

業として、農福連携に取り組んでいる。農家の方からも労働力としてありがたいと喜んでいただいている。

- ・総合計画は全体的に網羅している。個別のことに関しては、個別の障がい福祉プラン等に含まれてくる。様々な方との共生を目指しており、いただいたご意見は参考にしたい。

(市民意見)

- ・強靱化計画の策定に関連して、地域防災計画の改定はあるのか。
- ・強靱化について横断的な取組が必要であり、基地・防災課だけではなく、より上位の担当者の設置が必要。

(事務局)

- ・地域防災計画はすでにあるものを年に1、2回見直しを行っている。2月頃に防災会議を開催し、毎年、修正を重ねている。
- ・恵庭市強靱化計画は、国土強靱化計画と調和を図りながら、令和2年度内に策定する。
- ・位置づけとして、総合計画が上位にあり、その中の様々な施策や事業のうち、恵庭市の強靱化に関わる施策を恵庭市強靱化計画の中で整理、統合している。
- ・総合計画の事業をベースとして、強靱化計画を策定する。総務文教常任会への報告を経て、パブリックコメントを実施する予定。年末をメドに公開できる。

(市民意見)

- ・恵庭市の町内会加入率で地域によってはかなり低いところもある。市民との協働によるまちづくりに関して、無関心な人も多い。加入率を上げるために、町内会単独で働きかけても効果は薄く、行政と一体となって働きかけていきたい。アパートに住んでいる人は特に加入率が低い。
- ・ある程度強制力も必要ではないか。町内会加入率について、新しく出来る住宅団地での建築条件、アパートの賃貸条件に町内会加入を条件に入れていただくと、必然的に加入率は上がる。
- ・子ども達の遊ぶ場所がない。また、父母の仕事の都合で、子どもの少年団活動が制限されている。

(事務局)

- ・市民との協働によるまちづくりのなかで、町内会の協力はとても重要だと認識している。条件を付けることが出来れば、確かに良いかと思うが、住宅地の開発は民間にて行っており、市として条件付けを指導していくことは難しい部分も

ある。スマートタウンふれる恵み野の例だが、災害に強いまちということで、コレモというガス発電機の設置をお願いしているが、推奨までしか出来なかった。

・共助の中心的な役割を担っていただいていることには大変感謝している。町内会の重要性については今後も粘り強く広めていく。

・子どもの遊び場はだんだん減ってきている。また公共施設が増えていくと維持管理費が嵩んでいくことから、えにあすのような民間を活用した第3の居場所ということで、多世代交流の拠点、居場所づくりを進めている。

地区別意見交換会（恵み野地区）

第5期恵庭市総合計画について

日時 令和2年11月5日（木）19:00～20:00
会場 恵み野会館 集会室Ⅰ・Ⅱ
参加人数 2名

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

（市民意見）

- ・子供が減る、年寄りが増えるというのは分かるが、第5期総合計画の素案からは恵庭市が何をしたいのか分かりにくい。
- ・前期の反省がない。前期の検証があつて、議論があつて、後期の課題が出るはずだが、それらが無い。
- ・数値目標（純移動者数、観光入込客数、合計特殊出生率など）の反省がなされていない。本当に達成できるのか疑問。
- ・成果を分かりやすく示して欲しい。
- ・市民アンケート結果で「恵庭をPRすることはありますか」で半分以上がないと回答していた。そんな状況で恵庭をPRしても誰も来ないと思う。外から人を呼ぶのであれば、それに見合ったPRが必要。
- ・市民アンケート結果の解釈について「恵庭市に住み続けたいと思いますか」という問いは、現状のままでよいと捉えることができ、そこから恵庭が良いという評価には結びつかないと思う。単なる住み慣れたまちとしての評価で終わる。
- ・アンケート結果から今後の恵庭について市民要望を読みとり、対応していくこ

とも手法の一つとしてありうるのではないか。

(事務局)

・当初は7月に市民意見交換会を行い、市民意見を反映させた計画を策定する予定だったが、新型コロナの影響もあり、スケジュールが変更になっている。そのため、素案作成段階からの市民意見の反映が出来ていないが、その点についてはご容赦願いたい。

・第5期総合計画前期基本計画から成果指標を設けている。市民アンケート等から検証して、後期基本計画の策定を進めている。24の基本目標のそれぞれの成果指標について、検証を行い、成果指標を達成していない場合については、それを踏まえて後期基本計画の案を作成している。

・人口減少、少子高齢化対策に特化して総合戦略を策定している。総合計画はすべての計画を包括しているということもあって、少し理解しづらくなっている。

・恵庭市のPRということで、花の拠点整備をきっかけに、市民主導の花のまちのイメージを恵庭市としても発信していきたいと考えている。

(市民意見)

・総合計画審議会の委員として策定にあたり取り組んできたが、どういうふうな市民に受け止められるのか気になっていた。参加人数が二人だけということで残念。

・市民に十分伝わっていない、関心を持たれていないということはさみしく感じる。もう少し市民の皆さんに伝わるように工夫してもらいたい。

(事務局)

・コロナ禍の中、町内会回覧、市HP、新聞への広告など進めてきた。町内会長へ直接依頼しようと考えていた時、このように感染者が増えてきた状況があり、躊躇した部分がある。

・市民意見交換会で意見を出せなくても、パブリックコメントを実施しているので、そちらを活用いただければと思う。

・全体の計画ということで、防災、環境、経済、子育てなどが含まれている。結果として分かりづらくなってしまっている。個々の計画であれば、関係している方々などもう少し興味を持っていただけるかと思う。

・PR不足もあったので、もう少し興味を持っていただけるよう工夫していきたい。

(市民意見)

- ・テーマに対して、意見交換会の時間が全然足りない。テーマを絞ってもいいと思う。
- ・花のまちのイメージが浸透していない。道路沿いを花でいっぱいにするなどのまち全体の取組が必要。

(事務局)

- ・花のまちとしてPRするために中心的役割を、道と川の駅の裏に新しく整備している花の拠点が担っていく。
- ・道と川の駅には、年間100万を超す人が訪れており、相乗効果が期待できる。

(市民意見)

- ・市民の意見を聞いた上での施策が必要。花の拠点は誰が必要と言ったのか。
- ・「妊娠から子育てまでの切れ目ない支援体制」で色々と施策が書いてあるが、国、道、市の役割が不明確。内容は素晴らしいが、本当に行っているのか。
- ・マイナンバーと健康保険証、運転免許証の連動させる必要性を感じない。
- ・道が行っている新型コロナ対策についてステージで対策を分けるよりも、外出しない、密にならないことを徹底的に行う必要があるのではないか。

(事務局)

- ・計画を策定するときには分科会を設けて、何時間もかけて施策の検討をしている。
- ・今回、地区別に説明会を行うのか、内容を3回に分けて行うのか検討したが、コロナの影響もあり、各地区で開催した方が良いということで今回の形になった。
- ・今回の中で、時間が言い足りない部分があれば、パブリックコメントも活用していただきたい。
- ・「妊娠から子育てまでの切れ目ない支援」は人口減少に特化した施策として総合戦略で触れており、総合計画の基本構想の中でクロスさせている。
- ・ガーデンデザインプロジェクトとして、機能を複合したまちづくりを進めて行く。
- ・今回の総合計画はすべてを網羅している。個別の施策事業は実施計画で整理している。
- ・(コロナに関しては回答を控える)

(市民意見)

- ・マイナンバーカードなど行政のデジタル化も計画内に含まれているのか。

(事務局)

- ・個別の計画に含まれてくるような内容も全体的な表現として総合計画に含まれている。そのため、個別にはぼやとした印象になっているが、第3次実施計画にて整理している。

地区別意見交換会（島松地区）

第5期恵庭市総合計画について

日時 令和2年11月6日（金）19:00～20:00
会場 島松公民館 集会室
参加人数 7名

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

（市民意見）

・総合計画の素案を拝見したが、よくできた素晴らしい計画だと思う。そのうえでお伝えしたいこととして、素案の21ページ「08. 夢と健康を育むまち」の中でスポーツ活動についての記載があるが、これから高齢者が増えていく中でスポーツができない人も出てくるかと思う。そういった方々にも目を向け、「歩くこと」を計画に組み込んで行ってほしい。また、そのためには高齢者を引っ張り出す仕組みづくりが必要。エコバスや施設等の無償化、定額制など、高齢者が外に出やすくなるような制度を進めてほしい。

（事務局）

・後期計画の重点施策として、「08-3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」を追加している。また、この素案には記載されていないが、基本計画に付随する実施計画の中では、「歩くことを通したまちづくり事業」を進めていくこととしている。また、高齢者に対するエコバスの無償化等についても担当課に

意見としてお伝えする。

(市民意見)

- ・島松駅のバリアフリー化はいつになったら完了するのか。
- ・島松地区は広さの割に災害時の避難所が少なく、どこにあるのかの周知も足りていない。島松公民館が避難所であることはみんな知っているが、広い地区なので移動手段がない人たちもいる。
- ・農村地区への光回線の導入を進めてほしい。
- ・島松西側の地域には廃墟となってしまっている建物があるなど、活用が進んでいないため、開発を進めてほしい。また、開発にあたっては、西島松という地名を島松寿町としてほしい。

(事務局)

- ・素案の 44 ページ、目標 18「地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり」で、島松駅のバリアフリーも含めた駅周辺の利便性の向上と都市機能の集約について記載している。また、前期基本計画からの変更点として、現状と課題の項目で、島松駅のバリアフリー化が遅れており、早期の対応が求められていることに触れており、早急に進めていくこととしている。
- ・ご指摘のとおり、島松地区は広さの割に避難所が少ない状況であり、島松公民館は重要な避難場所となっているが、線路を跨がなければくることができない人たちがいることも承知している。避難場所とそこに向かう交通路の整備は重要事項であるが、単年度で進められるものではないため、「恵庭市強靱化計画」のなかに位置付け、総合計画と整合性を図りながら進めていきたい。
- ・光回線の普及については、全国的に急速に進められており、事業者の関係もあるため時間はかかるかもしれないが、当市でも進めているところ。
- ・恵庭市では JR3 駅を中心としたコンパクトなまちづくり、駅周辺のにぎわい創出を進めており、西島松地区においても未利用の土地を活用した市街化の検討を民間企業と連携して進めている。町名変更についてはご意見として受け止め、検討していく。

(市民意見)

- ・公園は子どもからお年寄りまで誰もが集まれる憩いの場であることから、草刈りなどの維持管理に係るソフト面での整備も進めてほしい。草刈りが行われておらず、草が伸びっぱなしの公園も見受けられ、安全や景観の面から見ても改善していただきたい。

(事務局)

・町内会で公園整備をしていただいていることに感謝申し上げます。公園整備については、ワークショップ等で市民の皆さんの声を聞きながら整備を進めていきたい。

(市民意見)

・目標 08 でスポーツの普及、大会開催の支援とあるが、マイナーな競技でも大会を開催すればまちは潤うと思う。例えば自身も行っているスポーツではあるが、ローラースキーはどうか。小さい自治体でも道路封鎖をして大会を開催している実績があり、少し広めの道路を整備すればすぐにできる。練習場などは新たに整備する必要があるかもしれないが、練習できる場所が少ないので使用料を払ってでも利用したいという人は多いと思う。

(事務局)

・そういったスポーツがあることは認識している。ローラースキーかは別として、大会開催によるスポーツ振興について、担当課にお伝えする。